

カナダ

!Kv

かんどう なかよし たいすき

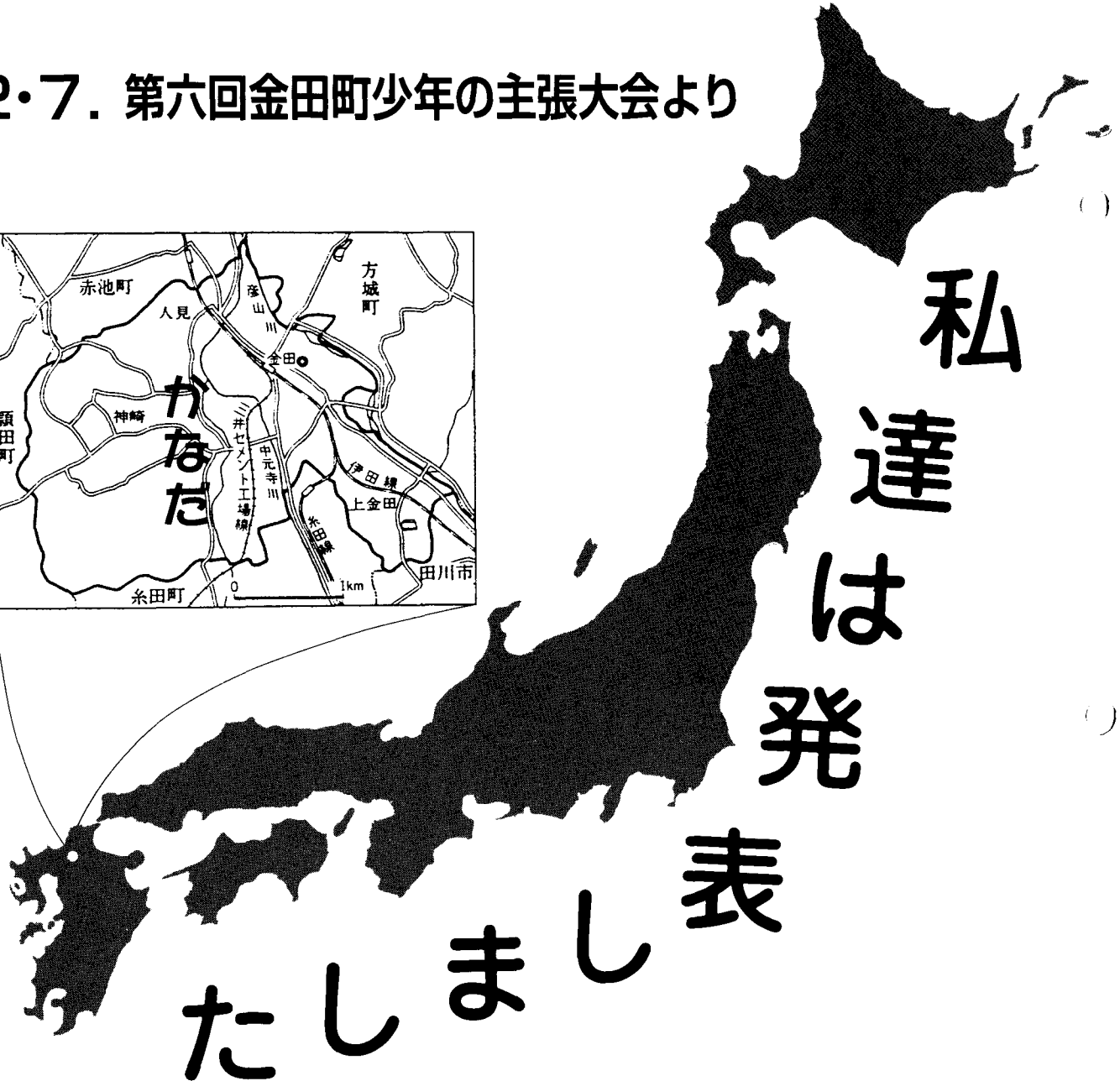
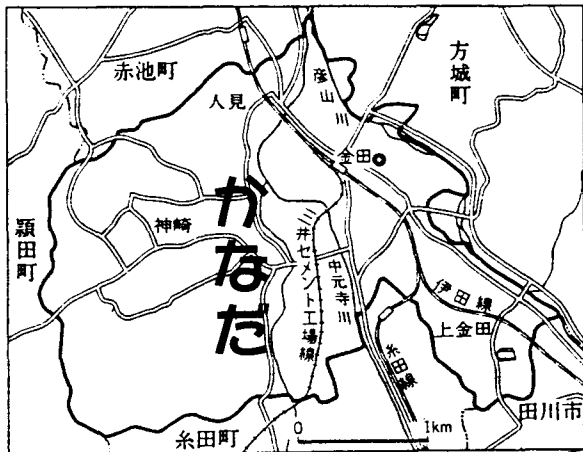


(No.262号)

MARCH

発行 金 田 町
編集 企画開発課
TEL 0947(22)0555(代)
FAX 0947(22)0782

2・7. 第六回金田町少年の主張大会より



カナダから世界へ

優秀賞

今のかんきょうと

これからのかんきょう

金田小 五年 藤田 弥生



私たちは今、町を大切にしているのでしょうか。

今の町は、台所から出るよごれた水やゴミを川にながしたりなどのかんきょうはかいで少しずつよくなっています。

中には緑をこわしていく、自動車の排気ガスもあります。このままでは、美しい地球は、どうなるのでしょうか。

今では、オゾン層がこわれかけています。道中には、ジュースの空き缶やタバコの

すいながら、すてられていきます。工場から出るガスが原因で、緑がしんでゆきます。

どうしてみんな、かんきょうを大切にしないのでしょうか。どうして町をよごすのでしょうか。

もし緑がしんだらどうなるのでしょうか。私たち人間や動物も、しぬに、ちがいはありません。

私たちは、今、まちがっています。それは、自然のことをよく考えないで、木をたおしたり、木を燃やしたり、緑を大切にしていけないからです。

私は、テレビで、「タバコ」をすう人が火がついたままですてるのが原因で山が燃えたりしているのを知りました。これも緑をなくす原因の一つです。

人間は、すみよいくらしをするため、緑をこわしたり、川をよごしたりして、回りの

かんきょうのことなどあまり気にかけていません。

川と海はつながり、川がよごれると、海もよごれます。

けれども、どんなに、よごれた川でも、どんなに小さな川でも、大切にしなければなりません。もちろんきれいな川も、大きい川も大切にしなければなりません。

かんきょうを大切にするために、私たちのできることをあげてみたいと思います。まず、楽しく町をきれいにするために、ウォークラリーをしながらゴミをひろうとよいと思います。

そして、もう一つは、よごれを出さない工夫をすることです。海をよごさないように、ストッキングで、アミを作って台所をきれいにします。くつ下で、ボール入れを作ったり、ようふくのそで、うでカバーを作って、物を大切に使用します。また、ゴミを

出すときは、きまられた場所に出し、くくってきちんと出します。

木や道だけでなく、海や川やいろんな所も、守って、自然を大切にしないと、いけません。

これからのかんきょうをよくするために、前に言ったような工夫や努力、協力を目標として、私たちが、この問題をかいつしなればなりません。そして、世界の各国の人々から、いつ見てもきれいだといわれるすばらしい所にしたいたいと思います。

また、私たちの住んでいる町や市でも、いろいろな取り組みを考えなければ、ならないと思います。

私もゴミをちらかささないように気をつけたいと思います。



彦山川に飛来したかも

かんきょう

田中 教育長

五年 藤田 弥生さん

「かんきょう」を守っていくという事について、身のまわりの事から、しだいに川や海がよごされていくという事に注意が向けられている点、はりっぱな見方です。

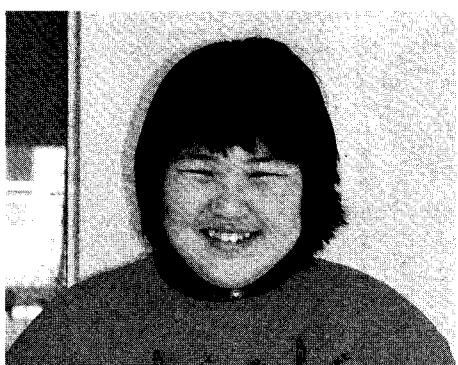
この問題についてあなたは「工夫や努力、協力を目標として、私たちが、・・・かいつしななければなりません。」という主張にもまったく賛成です。

その身近な行動として「ゴミひろい」と「台所のくふう」をあげている点もよい着想です。けれど、ことばや宣伝だけではかんきょうは美しくならない。そこで、このあなたの考えや努力を、みんなのものとして「協力」することによって社会せんたい、人類みんなが「自然を大切に」するようになるには、どうしたらよいか、さあ、これからは、そういう立場から考え、努力していくこと、それが君たちのこれからのべんきょうの一つの目標になるでしょう。

優秀賞

物を大切に

金田小 五年 岩永 理加



皆さんは、物を、すぐになくしたり、こわしたりしていませんか。私は、冬休みに、物の大切さと、人からあずかった物は、責任をもって、あずかると言う少し、私の心の中で忘れかけていた大事な出来事に、出会いました。

一月五日、私と、お兄ちゃんと、お母さんの三人で、銀行に行きました。お年玉の残りを貯金して帰りお兄ちゃんはいじゅくの時間だったので、金田駅で車からおりました。

その時「理加、通帳もって帰っちゃって。」と私に通帳をくれました。私は、「うん。わ

かった。」と言って、お兄ちゃんに、パイパイをして、車の小だなにおいたまではおぼえていたのですが、あとは、すっかり忘れていました。

お兄ちゃんが夕方、帰ってきて、「理加。通帳は。」と言うので、車にまだ乗せたままだったことに気が付き、車に行ってみましたが、自分がおいた場所に、ありません。車の中を、兄と二人で、全部さがしてみましたが、通帳は出てきません。「ないやん。どうしたんか。」と、強い言葉に、「うそ。あるはずばい。」とちよっとおこっていいかえしながら、何度も、何度も同じ所をさがすのですがありません。そのうちに、お母さんが来て、いっしょにさがしてくれました。お母さんは、ちよっと、おこっているようでした。私は、心の中で、もしどこかに落としていたらどうしよう。本当に通帳が出てこなかったら、どうなるのだろうと、いろんな不安が、横切りました。心ぞうがはれつし

そうに、ドキドキして、なんだか、わからないけど、体が、グツグツふるえて、お兄ちゃんに、悪いことをしてしまつたなあと思えました。お父さんと、お母さんから、おこられるこわさで、涙まで出てきました。お父さんと、お母さんは、私たちがお兄ちゃんをおくつた後の、行った所をもう一度、さがしに行ってくれましたが、ありませんでした。夕食の仕たくが出来ていたテーブルに付いて、お母さんが、おこり出しました。「お母さんも、通帳を何さつともっているけど、一度も、なくした事は、ないよ。それはお父さんが、いっしょけんめいはたらいいたお金なので落としたりしたらバチがあたる、いっつも大切にしているから。」と言いました。「お兄ちゃん、人に、大切な物をたのむ時は、自分の心が相手に通じるように、なぜお願いを、しなかつたの。」理加は、たかが通帳と言う気持ちで、うけとったんやろ。」ふだんから、物を

大切にしないさい。大事なものは、きちんとおしなさいと、言われても、守もれなかったことが、今回、こんな大きな事になったんよ。」とお母さんは、とてもこわくおこりました。

私とお兄ちゃんは、涙が出てきて、お父さんと、お母さんが、はたらい私たちに、お小使いをくれるから何でも買える。そう思うと、百円がすごい大金のようにかんじました。そして、私は心の中で、何回もお兄ちゃんごめんねと言いました。

今の時代は、お金さえあれば、何でも買えます。買ってはなくし、すててはまた買ってと言うように、物を大切に出来なかつた自分が、とてもはづかしいです。「これから物を大切に、大切に、大切に、責任をもってかえす。何でもないようなことでも、人間として、もっとも大切な事なんよ。」とお母さんが言った時に、本当に責任をもつと言うことは、むずかしい事なんだなあと思えました。私と、お兄ちゃんは、この冬休みに、通帳は出てこなかつたけど、とても、心に残るたいけんが

できました。

かんきょう

田中 教育長

五年 岩永 理加さん

「物を大切に」冬休み中、あなたは、たいへん大切な事を学んだのだですね。

一冊のノートよりもっと小さな通帳、それがどんなに大切なものだったか、それはお父さんのはたらきとお母さんの苦労という「心がこめられた物」だった。その通帳を失ったことで本当にその大切さが「わかつた」のですね。すばらしい体験をしたものです。

物を大切にすること、は、その物にこめられている人の心を大切にすること物を失うことによって始めて物の大切さがわかることそれがあなたに本当にわかつたのです。

わかるとは実はこんなことなのです。これが「発見」ということでしょう。こうしてあなたが人間として成長していくのです。

優秀賞

障害のある人

金田小 五年 藤本良彦



した。そのえいがかんに、よ
うごせつの人たちがきてい
て、おもしろい場面になると
「ああ」とか「うーうー」とか、
うれしそうに友達と話してい
たそうです。

ぼくのおばあちゃんも障害
がありました。病気で目が見
えなくなつて、家にいるとき
も柱に、でこをこつんとぶつ
けて、たんこぶを作ったり、
あついお茶でやけどをした
り、いつも、あっちこっちに
けがをしていました。

病院でも、目が見えないの
で、こまっています。いま
いっしょにご飯を食べてい
るときも、ごはんをこぼした
りするので「きたないなあ」
とその時は思っていました。
でもわざとこぼしたのでは
ありません。目が見えないの
で、仕方がないのに「きたない
」なんて思うのはまちがい
だったと思います。

おばあちゃんはおくの手を持
ったり、体にさすったりして
良彦も「大きくなったねえ」
とうれしそうに言っていました。

それなのに、ぼくは、「さわ
られるのがいやだ」と思っ
ておばあちゃんから遠ざけ
て立っていました。
そのおばあちゃんも、十一
月に死んでしまいました。

四年生のとき、ぼくのクラ
スにも障害のある友達がいま
した。
その友達は、中学生や他の
人にいじめられていました。
一回とめてやっただけれど、
その時ぼくが、えりくびをつ
かまれて、中学生の人に文句
をいわれました。
それで、とめるのを一回き
りやめました。でも今、考

えてみると、ぼくはいくじな
しだなおもいました。
その友達がいじめられてい
るときに一回止めたのだけ
ら、またとめてやるべきだっ
たと思います。

体育の時間もボールをこわ
がっていました。クラスの
友達と遊んでいるうちに、な
れて、ボールもさわられるよ
うになりました。
それに、やさしくすると、
とてもうれしそうにしていま
した。

ぼくは、このように障害が
なく元気です。目も見える
し、手も足も動きます。
食べる事も、遊ぶことも、
自由にできます。これから
は、障害のある人を見たり、
出会ったりしたときは、やさ
しくして、ぼくのできる事は、
手伝ってあげようと思いま
す。



〈完全参加と平等〉

●「国際障害者年」(1981年)のシンボルマーク●

かんそく

田中 教育長

五年 藤本 良彦君

「障害のある人」

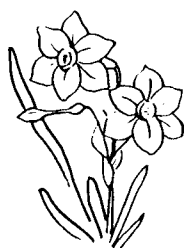
君はこの主張で人間が生き
る上で実にはたいせつなことを
書いていますね。

○スパーでの体験(もつ
とくわしく聞きたかった。)
○おばあちゃんのこと(家族
と老人の問題(現在の政治
問題です。))そして病人の
問題(死のこと(これも、
もっと聞きたかった))

○いじめの問題と勇気(体育
の時間のこと)

こうして障害のない自分を
見つけたわけです。

そしてその上で「どうすれ
ばよいか」を考え行動するこ
と、実に深く考えています。
「やさしい心」というのがどん
なに勇気がいるものか。
本心に強い人こそほんとう
にやさしい心をもつことがで
きるそれわかります。



特別賞

「未来の金田町」

金田小 五年 藤本貴子



私は、金田町がしょうらい
どういう町であってほしいか
考えてみました。

まず、すぐに考えついたら
は、未来の私たちのような子
どもが、楽しく遊べる場所、
しせつが今よりもたくさんあ
る町です。

たとえば、子どもたちが、
自動車など、心ばいしないで、
自転車や一人ん車で、遊べる
ような広場があったらいいと
思います。

もう一つは、楽しい遊園地
があったらいいと思います。
その遊園地には、ブランコ
や、長い長い迷路や大きい大
きいジャンゲルジムなどがあ
つたら楽しいと思います。

そこで、みんながいっしょ
に遊べば、友達のきずなも深
まり、明るくなると思います。
次に考えたのは、川や池が
きれいで、みんなが、今より
自然を大切にしている金田町
です。

今、川や池、道路のわき
なので、よくあきかんやごみ
すてられているのが、目につ
きます。

私は、あきかんや、ごみな
どを、かかるとかきかすな
ら、その人の気持ちがわか
りません。

このままでは、未来の金田
町は、ますます、ごみだらけ
になりそうな気がします。
だから、あきかんや、ごみ
など、決してすてず、また、ご

みをみんな、ひらって、今
より、きれいな金田町にな
ってほしいです。

そうすれば、池や川に、今
よりもっと多くの魚が住み、
鳥もたくさん来るだろうと思
います。

それから、生き物を大切に
するという事で、小さな動
物園や植物園もあればよいと
考えました。

そこには、小鳥やうさぎや
りすやハムスターなどいて、
みんなでお世話をするので
す。

そして、花は、チューリッ
プやパンジーやひまわりなど
植えてみんなで育てていくの
です。そしたらみんな生き物
を大切にすることが今よりい
っぱいになると思います。

まだまだ、いろいろ考えが
あります。お年よりを大切に
し、子どもたちとお年よりが
いっしょに活動するような行
事を今よりたくさんあればよ

いなあとも思います。

ほかに、たくさんありま
すが、こんな夢を実現するた
めには、私たち、今の子ども
が、がんばらなければなりま
せん。

そして、大人になったらす
ばらしい金田町にしていき
たいと思います。

かんそく

田中 教育長

五年 藤本 貴子さん

「未来の金田町」

この主張で「未来」と「し
ょうらい」(将来)とをまぜて
使っていますが、これは、ま
だ君等の年では無理かも知れ
ませんが「未来」と「将来」と
は違った意味があるというこ
とです。

未来とは「まだこない」と
いう意味で今日から「あした」
というようなもので、あした
はいっまでもあしたである。
それに対して将来とは「かな
らずくるもの」で君があと二
ヶ月で六年生になる・・・
というようなものです。

だからあなたの主張は、む
しろ「将来の金田町」・・・か
ならず来る時の金田町・・・で
すね。

だからあなたの構想は、ほ
んとくに、もう私の目にも見
えるような美しい金田町の姿
が描き出されています。

